神戸・南京をむすぶ会＆兵庫県在日外国人教育研究協議会
第２３回訪中団―南京・桂林フィールドワークの記録　　by 小城智子

2019 年 8 月 13 日～２０日　南京・桂林・上海

8 月 13 日（火）
１９；０５　集合　皆さんが予定時間より早く集まった。
宮内団長挨拶
１９；１５　チェックイン　吉祥航空　５－１２　少ないかと思ったが、結構並んでいて時間がかかった。
２０；００　出国手続き終了　顔認証
２０；４５　２９ゲート集合
２１：００　戴さんからの連絡に、夕食は不要と答える。
２１：２５　飛行機　搭乗
２１：４５　飛行機離陸
２２：１５　機内食　パン　ケーキ　あられ　果物　水　飲み物
２３：２５　着陸準備
２３：５５　（２２：５５）南京空港着陸　ちょっとショックが大きい。
入国手続き　外国人受付担当者がいなくて時間がかかり、若い人にいろいろ質問して時間がかかる。
２３：３０　ようやく入国
２４：００　戴國偉さんと再会
２４：１０　バス乗車
００：５５　ホテル到着　南京金匯大酒店　南京市白下路 288 号 TEL025－8457－0888　３連泊
両替レート　１万円⇒６２５元
8 月 14 日（水）
７：００　朝食
９：００　集合
９：１０　バス乗車　出発　運転手　馬國平さん

９：３５　　侵華日軍南京大屠殺遇難同胞東郊埋葬地　碑文説明　東史郎さんについて説明　黙祷　記念写真
１０：０５　バス乗車　出発
１０：２０　燕子磯について説明
１０：２３　門永副団長　説明
１０：３７　山本さん　自己紹介
１０：４５　福田さん　自己紹介
１１：００　燕子磯到着　入園料２０元　60 歳以上無料
１１：１０　燕子磯侵華日軍遇難記念碑　碑文説明　黙祷　記念写真
下に降りて　長江に臨む　酒樽石のある高台に上がり長江を望む
１２：１５　バス乗車　出発
１２：３０　昼食　張記私房菜　鼓楼区金陵新八村
１４：１０　バス乗車　出発
１４：１５　草鞋峡侵華日軍遇難同胞記念碑　碑文説明　黙祷
１４：３０　バス乗車　ジャスミン茶　緑茶配られる　容器が中国らしい
１４：４５　中山埠頭侵華日軍遇難記念碑　碑文説明　黙祷
長江を望む
１５：２０　バス乗車　出発
１５：３０　挹江門到着
１５：４５　刘栄寿さん　88 歳　日本語で話しかけてくる　日本軍の様子など話して下さる　八路軍に入り
革命傷痍軍人として月 16000 元の年金生活
１６：００　挹江門叢葬地記念碑　碑文説明　黙祷　写真
１６：３０　城壁に上る
１６：４７　バス乗車　出発
１７：２０　ホテル到着　風呂　シャワー　休憩
１８：３０　集合
１８：４０　出発　武定門を通過
１９：１０　上海大酒店
２０：３０　夕食終了
２０：４０　出発
夫子廟散策　お土産を買う
２１：５５　ホテル到着
戴さんからのＴシャツ（「神戸南京２３」ロゴ入り）をいただく
秘書長室では今年も交流の夕べ

8 月 15 日（木）
６：００　　モーニングコール
７：１５　　集合　うちわに貼る「祭」をもらう
７：２０　　出発
７：４０　　南京侵華日軍遇難祈念館到着
張建軍館長　芦鵬さん出迎え

挨拶

幸存者証言集会　岑洪桂（しんこうけい）さん

９：１５　紀念館平和集会式典会場へ　白い菊の花を１輪ずつ持ち６人ずつ１列に
９：２０　報道陣規制
９：２４　開式　紀念館館員司会
９：２５　宮内団長挨拶　戴さん通訳
９：２７　NARPI（北東アジアの平和を考える）挨拶
９：３４　中国代表挨拶
退場後　２４人一列に　思い思いの一言を一斉に寄せ書き
しばらく交流　スリランカ、中国、韓国、日本、その他の国からの青年　熊本出身の方は祖父が熊本第９師団と話す。
門永副団長インタビュー
旧館前で黙祷　花輪を大学生のお二人が献花　写真撮影
１０：２０　入館　朝からすごい行列で申し訳ない　親が子どもたちに説明する姿
１１：３０　新館出口集合　（絵本「向着光亮那方」購入）
１１：５０　宮内団長の説明で万人坑に入る。
１２：１０　第６出口からバス出発
館長見送り　記念館から新しい図録とノートを記念にいただく
１２：４６　昼食　北京烤鴨　玄武区小衛外２０号
店員募集の張り紙　月給 3300 元（時給 13 元）〜コック 6000 元
１４：００　バス乗車
１４：３５　バス下車
１４：４０　南京利済巷慰安所旧址（きゅうし）陳列館　入館　館長侯さん挨拶
１６：００　館入口集合
１６：１５　バス乗車
１６：３０　中華門到着
70 歳以上無料　60 歳以上半額　60 歳未満 50 元
１７：３０　集合
１７：３５　バス乗車　出発
１８：００　ホテル到着
１９：００　集合
１９：０５　出発
１９：２０　百家淮揚小厨　いっぱいで待つ
１９：４０　ようやく中に入る
２１：１５　食堂を出てホテルへ

8 月 16 日（金）
７：００〜　朝食　飛田秘書長　南京の新聞４紙購入
９：００　集合
９：０９　バス出発
９：３０　老門東　夏淑琴さん　1937 年 12 月 13 日事件当時の住まい（現在アパート工事中）日本軍が駐屯した建物（軍閥が建てた家・工事中）

９：４２　　老門東到着　南京城壁まで歩く　お買い物　散策時間
１０：３０　門前に集合
１０：５５　バス乗車　出発
１１：０４　折口さん　退職したら一度は参加したいと思っていて香港に行き、翌年は「セデック・バレ」の映画の台湾に行くというので、参加、そのまま毎年参加している。
折口さん　４回目　資料集を見て準備をと思ったが､中国語で少しでも話がしたいと勉強してきた。
１１：００　阪上さん　最近発見したこと二つ　中国側の視点での抗日戦争　図書館で「抗日前史」発見　宝塚在住者が４人も参加　もう一つは南京の祈念館で広島の知人に遭遇し、世界の狭さ知りました。
１１：０６　近藤さん　最近腹の立つ３人について
１１：１２　南京民間抗日戦争博物館　到着
１１：１５　呉先斌館長再会　今年は皆さんに会うために名古屋市訪問をキャンセルした。去年改装し３階から２階に展示を拡大、２階は南京戦、３階は中日戦争の収蔵品を展示。抗日戦争に参加した共産党国民党の兵士２０００人以上を調査している。今莫大な資料を保管していて、もっと広い場所に展示ができるように探している。皆さんの力添えも忘れてはいけない。特に２０１５年、宮崎県に八紘一宇・皇紀２６００年の塔をつくるために中国から持ってきた石（文化財）をかえしてほしいと訴えているが、宮内さんから激励のメッセージをいただき感謝している。東京の副読本に載るなど影響力を持ってきていると知らされた。日本人も八紘一宇の問題に関心を持ってきていることがわかった。
オリンピック開催について意見交換
１１：５５　見学終了
１２：００　昼食　レストラン　里白餐館　南京民間抗日戦争博物館隣の建物
１３：００　出発
１３：０７　小堀さん　仕事があって、８日は休めない。来年は仕事を辞めるか迷っているが。今のデイサービスで１９歳の時に微用工で連れてこられた在日の方がおられる。韓国語も忘れ日本語も怪しいが、もっと関心を持ってお話を聞いていきたい、と改めて思っている。
１３:１０　井上さん　日本で南京のことを聞いても､遠い存在だった｡周りの人も戦争の話はなかなかしない。今回自分の目で祈念館を見て、自分で読んで、自分の中に落ちてきた。自分の家では、いろんな話をしているが、周りにどれぐらい発信できるか、と考えている。今回は楽しかったし、学ぶものがたくさんあった。自分は小・中学校とういていたが、大学生になって周りとの関係も広がっている気がしている。自分は恵まれている。発信することを自分がしないといけないと思う。

１３：１８　宮内団長　二人を送る言葉　小堀さんはお仕事で体験者に寄り添っておられる。井上さんは平均年齢を引き下げてくれた。聖書に「蛇のように聡くハトのように柔和に」とある。このように活動してほしい。
１３：２０　小城さん　神戸南京の出会いのおかげで、平和マップが作れた。飛田さんの巻頭言もあるので、増刷のためにも子どもたちの配布のためにも購入を。
１３：２６　風呂さん　謝罪の言葉しかない、広島でも８月６日からあとどれだけ苦しかったか
映画「ひろしま」「夏少女」は必見
１３：２８　後藤さん　水道民営化法と民営化の動きの恐さ　パブリックコメントの締め切りが８月２０日、その準備のために、資料集は全部は読めなかった
１３：３４　南京空港到着　運転手　馬さんにお礼
１４：１５　帰国する小堀さん井上さん見送り

１４：２５　団体窓口　小荷物預け手続き　次々ひっかかる（電池、携帯など）
１５：０８　手荷物検査終了１７番搭乗口へ
１５：３３　搭乗終了
１５：５５　動き出す
１６：０９　離陸
１６：４５　機内食　ライス or ヌードル　パン　フルーツ
１７：５０　桂林空港着陸
１８；０５　荷物受け取りレーンへ
１８：１５　桂林ガイド　李翔さん　天元国際旅行社
１８：２０　バス乗車　運転手　胡洪崧さん　木犀の町桂林　熊本と友好都市　桂林ビーフン有名
１９：１７　ホテル到着　桂林金龍珠国際大酒店　桂林龍珠路１号 TEL０７７３－２５６０００　３連泊
夕食会場３階
２０：１５　夕食終了　キーを受け取り　荷物を持ち各部屋に

8月１７日（土）
6：００　モーニングコール
6：３０　朝食　２階
7：３０　バス乗車　出発　運転手胡洪崧さん（地域の歴史研究家）盧蘭さん（地域の歴史研究家）
8：１５　離江景区磨盤山客送港到着
8：２５　荷物などチェック　チケット 245 元　弁当など別途費用
8：４５　乗船し漓江下り　遊覧船の番号は２６番　桂林―陽朔
9：００　出航　座席指定
30 分後には　上のデッキに上がって山を見る
１０：４５　テーブルごとに 100 元のおつまみ（川エビ、沢蟹、川魚、タニシ、里イモなど）、ビール注文届き、小休憩
１１：１０　サントリーウーロン茶のコマーシャルに使われた風景ポイント
１１：３０　ランチタイム　弁当タイ米、トウモロコシ、緑豆
12 時頃　山の様子がなだらかになる
１２：４７　陽朔　到着
下船後　ずっと続く売店を抜ける
１３：０６　11 人乗りカートに乗り 8 キロ先の駐車場まで
１３：２０　駐車場到着
１３：３０　バス乗車出発
１４：５３　韋さん宅到着（荔浦県）お孫さんが待っていてくれるが、本人はボランティアの方と出かけ不在。韋さんが住んでいた土レンガの家、お孫さんの家、羅さんの住む家を案内してもらう。誕生日のアルバムなども見せていただく。戴さんがあちこちと連絡をとる。
１５：１５　室内に入れてもらい、見学する。
お孫さん曾孫さん入れて写真撮影
１６：０４　バス乗車　出発
１６：１０　横道から車が飛び出してきて後部右側をぶつける。女性が交渉相手になるが実際に運転していたのは若い人だったようで、前部がかなりひどく壊れている。警察は呼ばず話がついた様子。（荔浦県新坪鎮新西路１４６）

１６：２３　出発
１６：５７　ガソリンスタンド工事中だがトイレを借りる。きれいになっている。（トイレ革命）
１７：０５　バス出発
１７：０９　少し戻った目的地　韋さんが閉じ込められていた所にいく。当時大きな地主の家に日本軍が駐屯していた。　荔浦馬峻鎮沙子山令？（山偏のこの字がつくれない）
そばの同じような高い楼を見せてもらう。陳慶文さん所蔵。陳さんは、婦人連合会会長、村長もされた方。父親は共産党工作員だが、地域の大地主に密告され、１９４９年３８歳で国民党につかまり殺された。陳有義・陳品元の二つの名前を持っていた、と話される。
中国人親子に住所を聞いてもらう。「日本に帰ったら言って。尖閣島は中国の領土だって」と言われたそうだ。
１７：５５　バス乗車　出発
１８：０７　後藤さん　南京の紀念館の展示で、幸存者の写真が横の壁面にもあるのがわかりにくい、犠牲者の写真かと思ってしまう。町にスローガンがあふれているのも気になる。
上田さん　最近高齢者の孤独死、ひきこもりの方の孤独死が多い。
西端さん　9月の遠藤美幸さんの講演会、映画会の案内
１８：３０　大渋滞にまきこまれる　橋の上からの写真をとるので、渋滞
１９：１７　陽朔　新西街大酒店（泊まる予定だったホテル）　夕食
２０：１０　ロビー集合
２０：２０　バスにのる場所に到着
２０：２５　バス乗車　出発
２１：５５　ホテル到着

8月18日（日）
７：００　モーニングコール
朝食　朝　伏波山に登山（約20分）
８：３０　集合　バス乗車　戴さんから、今日の予定　羅さんとの面談の話、胡洪崧さん（運転手・南京民間抗日戦争博物館館員の紹介
８；４３　バス出発
李さん　戴さん　宮内さんから、李宗仁さん故居について詳しい説明がある。桂林の軍閥の一人だが、祖父、父の代に風水に基づいて大きな屋敷を建てたこと、徐州作戦で「台児荘」で国民党として日本軍に勝った将軍であり、蒋介石総理と並び、副総理になり代理大統領になったが、台湾行きに不安を覚え、香港からアメリカに行ったこと、1960 年の周恩来のアジアアフリカバンドン会議での「国を愛する者はだれでも歓迎する」という言葉に、中国に帰って来たことなどを詳しく紹介される。途中　美国飛虎隊桂林遺址公園があり、紹介される。
９：５０　李宗仁故居　両江鎮木田木斗村　到着
ゆっくり見学。もとは学校もつくられていた。
１０：５０　集合
１０：５７　バス乗車　出発
１２：００　昼食　澳門酒家到着
１３：１７　バス乗車　出発
１３：３０　八路軍桂林辨事処紀念館　中山北路１４
１４：１０　集合　バス乗車位置へ

１４：２２　バス乗車　出発
１４：３７　七星景区（七星公園）到着　入場料５５元　年齢で半額　七星岩洞　入場料 45 元　65 歳以上無料
１４：５０　月牙楼
１４：５４　元風洞　羅さんと出会う
横の木陰で挨拶をしてお話を聞く。「私たちのために時間をとってくださってありがとうございました。お訪ねしておられなかったので、今日お会いできてうれしかったです。いろいろな思いがおありだと思いますが、これからもお元気でお過ごしください。」
「しゃべっても何の役にもたたない。いくら話しても今の私とは無関係のように思います。かつての体験は皆様のやったということではないので、皆さんの先祖がやった罪悪であるから、皆さんとは関係ない。日本軍の蛮行により被害を受けた者は私一人ではない。」「お母さんは天国に行きました」「生活の苦しさは山ほどありますが、自分を頼りにしていかないといけない。」「政府から少しの補助金をもらっているので、それを頼りに暮らしている。」「東京にはいったことがありますが、他はいったことはない」「日本人の昔やったことはしかたない」「日本人は普通の人もいる」「日本人の先輩がやったことは法律違反だ」
写真撮影
１５：１５　普陀山　顔真卿の書の碑を見る。
１５：２７　3 将軍　陳済桓（１８９８～１９４４）猿山で自決、闞維雍（～１９４４）自決、呂栴蒙（１９０５～１９４４）工和石山　停戦中に撃たれ死亡。殉職記念塔 1946 年に建立、文革で倒され、1982 年再建　桂林抗戦忠敬記念碑　最初の碑は壊され行方不明になった。一人生き延びた方の話は、400 人近くの兵士が鍾乳洞に隠れたが、毒ガスを打ち込まれ亡くなった。また、周辺で集めた遺骨も合わせて埋葬したといわれた。胡さん詳しく説明してくださる。
呂旃蒙（１９０５～１９４４）工和石山？停戦中に撃たれ死亡？
徳智中学校付近で流れ弾に当たり死亡
１６：００　陳光烈士記念碑　2000 年 7 月 19 日建立
１６：０５　鍾乳洞入口へ　毒ガス弾投入された場所　入り口付近は黒く焼けた跡がある。
１６：４５　鍾乳洞から出る。
１７：１０　バス乗車
宮内さん　集約
１７：２０　ホテル到着　シャワーなど浴び、少しゆっくりする。
１８：１０　集合　バス乗車
１８：２５　桂林賓館　到着　夕食
２０：００　集合　マンゴスチン購入してきた人　桂林地図購入
２０：１２　バス乗車出発
２０：３２　日月湾埠頭　バス下車　ナイトクルーズへ
不参加者は歩行者天国、人工瀑布を見ながらホテルへ
２０：４５　ホテル到着
２０：４５～２１：４０　ナイトクルーズ
琴の演奏に合わせ、船内で「アリラン」「北国の春」合唱し韓国ツアーの人々と交流、甲板でも飛田さん中心に交流
２２：００　ホテル到着

8 月 19 日（月）

伏波山、城壁など見に行った人が多い。残月があり、日の出も見た。

７：００　モーニングコール

朝食

８：３０　集合

８：３８　バス乗車　出発

８：４５　離江川沿い駐車場から解放橋まで歩く。

中元節の話、川と暮らしとの結びつき

８：５０　胡さんから、伏波山、象鼻山に中国国民党軍が陣地をつくり、日本軍が攻めてきた経路などの説明

解放橋の歴史　39年中国軍が日本軍の侵攻を止めるために破壊したこと、49年解放橋になったこと

９：２５　バス乗車出発

９：３５　宝積橋下車　宝積山登山　国民党軍のトーチカ見学　国民党軍の指揮官が陣取る　向かいのインコ山にもトーチカが見える

９：５５　山頂に到達　胡さんから説明を聞き、写真撮影タイム

１０：４０　下山途中に見える学校宝賢中学校は司令部になったという話、

１０：５５　バス乗車　臨桂区へ

１１：３０　昼食会場　臨桂区西城北路鳳凰第２楼　味道小厨

１２：５０　昼食終了

１２：５５　バス乗車　出発

１３：１０　馬埠江村　到着

陽振珠さん（８２歳）に会う。塔山小学校前の田の中をとおり、いちじく畑を抜けたところに大きな洞窟があり、案内していただく。前日前々日あたりに草刈りをしていただいたが、ハチに体中刺されて大変だった話もされる。

１３：３２　洞窟到着。陽振珠さんから話を聞く。兄の方が詳しいから呼んでくるといわれる。

待っている間に若い順に？蚊に刺される。赤く腫れあがっている。

１３：５５　陽さん帰ってくる。兄の陽振球さんが来て下さる。（1938年1月15日生）

「ここは一番来たくないところ。来たら悲しくなるところだ。」「1944年旧暦9月25日のころ、朝ご飯を自分たち一家4人と親戚の家族と一緒に食べ、自分たちは家に帰ったが、その後日本軍兵士が3人入口に草を積み上げ火を付けた。父の兄の家族も6人亡くなった。おじいさんは、体中泥をつけ、布団をかぶってでてきた。1955年亡くなったが、60歳になる前だった。村で生き残ったのは8人だけ。父が棺桶を用意し、探しに行ったが、真っ暗な中で、だれがだれかわからなかった。111人の遺骨が今洞窟内で眠っている。数年前政府がコンクリートでふさいでしまった。」

１４：３０　黙祷、記念撮影後戻る。

１４：４７　バス乗車

１４：５０　バス出発

１５：１５　あいさつ

１５：１７　桂林空港到着

１５：４０　チケット手続き

１５：５５　チェック

１６：１５　全員通過　傘、バッテリーなど

１６：２０　搭乗場所２１１へ

１６：４０　飛行機搭乗

１７：２７　離陸
１８：０５　機内食　チキンライスかビーフヌードル、パン、ケーキ、フルーツ、飲み物
１９：００　一気に暗くなる
１９：４５　上海浦東空港着陸
１９：５７　停止　飛行機から降りる（浦東空港新設部分）遠い
２０：１２　３９で荷物受け取り
２０：３０　ようやく外へ出る。むっと暑い。全体に予定より遅くなる。
２０：３２　バス乗車　出発　何度もお世話になっている運転手　陳剛さん
２１：２０　ホテル到着　戴さん夜の食事の場所を探し走り回ってくださる。
２１：４５　イスラム風レストラン　清真蘭洲拉麺　水餃子、拉麵、焼きそば、焼き飯、野菜炒め　お酒はだめ
２２：４０　ホテルチェックイン　顔認証あり
上海華晶賓館　上海長陽路１６９１号 TEL０２１－６５１８－９９８８

8 月 20 日（火）最終日
７：００　モーニングコール
朝食　少し散策した人もいる。
９：００　集合　荷物を持ってバスへ
９：１０　バス乗車　出発
９：４５　四行倉庫記念館下車　光復路２１
入館時荷物チェック　少年宮少年少女　公共秩序を取り締まる職員団体で見学
部隊長　謝晋元の家族にあてた手紙、1937 年 10 月 26 日～31 日の 4 昼夜の闘い。歴史的意味。
イギリス政府の保護下に置かれた兵士たちのその後、など詳しい。
１０：５０　見学終了
１１：００　戦闘の痕を残した外壁の前で記念撮影
１１：０７　バス乗車
１１：２０　ガーデンブリッジ傍で下車
川島芳子、児玉誉志夫らのアジトとなったブロードウエーマンション（上海大厦）、チャップリンの泊まったホテル浦江飯店（プージャンファンティエン）（現在中国証券博物館）も訪問。
１１：５０　バンド（外灘）上海も 32℃ということで、風のさわやかなバンドで上海の歴史をかいま見た。宮内さん木下さんの写真にあった和平飯店も蒋介石、宋美齢の結婚披露宴が開かれたホテルとして有名。
１２：１０　集合
１２：３７　バス乗車　出発
１２：４０　参加者総括　後藤さん　気力、体力、食欲がそろってないとこの旅は大変だと再確認。
日本鬼子の性奴隷のところで、「恥ずかしい」と言われたが、恥ということを考えさせられた。報告集にまとめたい。
上田さん　何とかなると思い用意してきたが、暑さで体力が厳しかった。助けてもらってありがとう。
木下さん　中国には何度か来たが、非常にハードで大丈夫かなと思った。朝方 2 時間ぐらい散歩してみようかなと思い、歩いてみたが、道に迷い、2 人の人に聞いた。一人には「ダメ」と言われ、もう一人が「知らない」と言ったが、戻ってきて、ホテルまで案内してくれた。

福田さん　すばらしくもりだくさんのツアーを企画してもらった。胃の調子が悪いのだが、1回の食事が1日分というのにびっくりした。体重が半年前に戻ったかもしれない。一番思うのは日本の加害性。天皇制を倒さなかったのが一番の問題。沖縄も含め元凶は責任をあいまいにしたことだ。

山本さん　はじめての参加で、ハードなフィールドワークを最後までできるのかと不安もあったが、皆さんの事実をさぐり、現場に行って声を聴く、という取り組みに、最後まで一緒に参加することができた。予習してきたが、復習して、どうまわりの人に伝えていくのかが課題。学びを続けていかないと、また同じことを繰り返しそうな現実がある。

西端さん　スタッフの皆さんの周到な準備の結果を学ばせてもらいました。現地で、命拾いした農民の姿に一生懸命生きてきた姿にふれたことがよかったです。

白方さん　中学2年生の時に中国人留学生を受け入れたことがありました。日本のことをあまりよく思っていない、日本の友達もあまりよく思っていない、という中で、どうすれば中国人の良さ、日本人の良さを受け止めるのか、今なんでこんなふうに思っているのか、考えさせられたことを思い出します。中国人の温かさ、博物館に展示された事実、現地の人に話をきいたことを日本でも発信していきたいです。

9月に中国に来るのは、中国語の歌のコンテストに参加するためです。北京オリンピックの時の「私とあなた」をうたいます。これからも中国と日本との懸け橋になっていきたいです。

風呂さん　8日間お世話になりました。体験者にお会いして、一日でも長く生きていてほしい。普通では出会えない人にお会いできた、というのは本当に感謝です。飛田さんに大丈夫ですか？と言われ、次までに体力をつけておきたいと思いました。

小城さん　今回も現地に立つすごさを感じました。

近藤さん　宮内さんの思いが通じた、と思う旅でした。洞窟に至る道の草刈りと言われたけれど、草ではなく、笹、指くらいの木、エンジンをかけて切り倒すのではなく、おそらくあの赤銅色の方が、鎌を使ってやったんだと思うと、彼にも、戴さんにも感謝にたえません。

日本鬼子の息子さんに会って、子どもの頃にいじめにあった、というが、成長していく中で、男としての性欲が生まれてそれをどう処理してきたのか、日本鬼子と同じ性欲が生まれてきたときにどう思ったのか,74歳まで生きてきたあの人の生き様を思って打ちのめされる気持ちだ。

折口恵子さん　今着ているインドの服は下から2番目の娘のお土産です。よく海外旅行に行っています。体験者のご兄弟が元気でたくましく感じました。対照的に息子さん羅さんは、しんどい顔をされている。不本意な生まれ方で、前向きに生きられなかった、前向きに考えられんかったかなと思いました。これからも参加するなら、体力も考えたい。

折口晴夫さん　ラモウでは、こんなところまで日本軍は来る。そんなところまで連れてこられて、殺し合いさせられて、死んでしまったというむなしさ。桂林のガイドさんがこんないいところを日本軍が焼いてしまった、と言っていた。傷跡を残している。高所恐怖症だが、登ってみると景色がよかった。

阪上さん　今年は仲間が何人もいて心強かった。三度三度食事もでき、楽しめる。勉強もでき、蚊に襲われても目的に向かって頑張ったことは素晴らしい。「ひろしま」

は市民８万人が参加したすごい映画。被害のすさまじさが分かる。日本が戦争責任をとってないことが今も大きなことになっている。中国の幸存者が最後には笑って握手してくださって、感激した。

飛田さん　８２歳の陽さんがすごかった。お兄さんを呼びに行くと走り出した。今回は観光もできた。登山もできた。神戸南京の旅は、１９９６年4月２８日からのニューヨークの中国人画家が描いた南京大虐殺の絵画展を、林伯陽さんと松岡環さんがやろうと話をもってきて、神戸大学の山口先生を委員長に、林さんを副委員長、安井先生、一海さん、YWCAと２４・５人で絵画展をした。それで、一度南京に行ってみようということになり、南京＋合肥、淮南に行った。最初は１０人ちょっとで行こうと思っていたのだが。

１３：２０　昼食会場到着　福送来酒家　浦東特色農家菜　上海浦東機場川南奉公路９７１　１号

１４：１０　バス乗車

乗車前にブドウをいただいて皆に分けて下さった後藤さんに感謝。

１４：１４　浦野さん　２回目だが、今回は絶対におなかを最後まで持たせることが目標でした。２３年も続いているのは、団長さんの思いの強さ、戴さんの前もっての準備のおかげ。中国はどんな国か興味があるが、日本にもいる中国人の力、１３億人の中国人の３割は世界を飛び回っている力がある。食事が残るのが気になる。交通事情もあれだけ車とバイクがあるのに、事故が少ないのは不思議。

近藤さん　羅さんの父親が、中国戦線で死んでいたらいいが、日本に帰ったら平和な家庭を作っていたんだろうなあ、と思ってしまった。

門永さん　ちょっとうっとおしい思いの旅だった。孫が目隠しをして指が目に入り時々痛むことがある。また、７０歳になり、入場料無料の分類に入るのが愕然とした。１０月１日中国は建国７０年を迎えるが、市場主義的社会主義実験として発展してほしい。でも、政治体制、民主主義のことを考えながらツアーに参加。紀念館、記念碑は８２年から８５年にたくさんできた。今また第二次ブームで戦争関連記念館がつくられている。歴史を記録する記憶することは大事だと思うが、帝国主義的なコンセプも感じる。考えていきたい。

宮内さん　岑さん羅さん陽さんにお会いできてよかった。戴さんのご努力に感謝します。抗日戦争ではかつて八路軍のみが取り上げられていたが、国民党軍の働きの見直しが進んでいる。でも、民衆の犠牲はまだまだ取り上げられていない。その中で南京の紀念館はしっかりと記録している。その力になったのは、広島長崎の記念館。今加害の展示は薄められているのは残念だが。

１４：２５　上海浦東空港到着

１４：３０　陳さんとお別れ

安全検査

１４：４０　搭乗手続き　吉祥航空カウンター

１５：１０　全員済　戴さんとお別れ

１５：１５　出国手続き

１５：４２　手荷物検査終了

１５：４５　Ｄ８４搭乗口付近で解団式

１６：００　搭乗

１６：５５　滑走路へ

１７：０５　　離陸

１７：３０　　機内食　チキンライス、ビーフヌードル、パン、クラッカー、ピーナッツ、バナナ
　　　　　　　飲み物（ビールもあり）

１８：００　　気流の悪い所を通過　外は黒い雲

１８：５２⇒１９：５２　着陸　予定通り
　　　　　　　入国手続き　顔認証で早い。ちょっと複雑な気分。

２０：００　　荷物引き取り
　　　　　　　三々五々　帰路へ